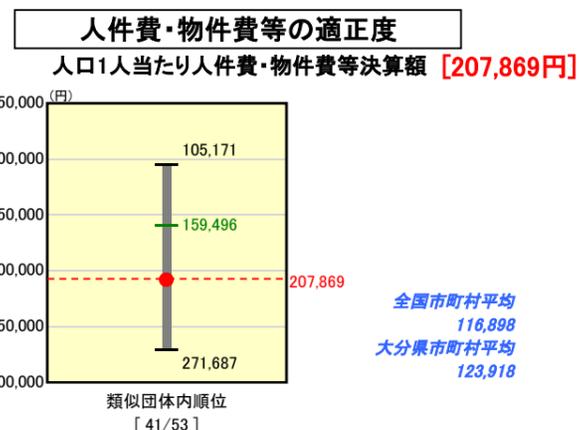
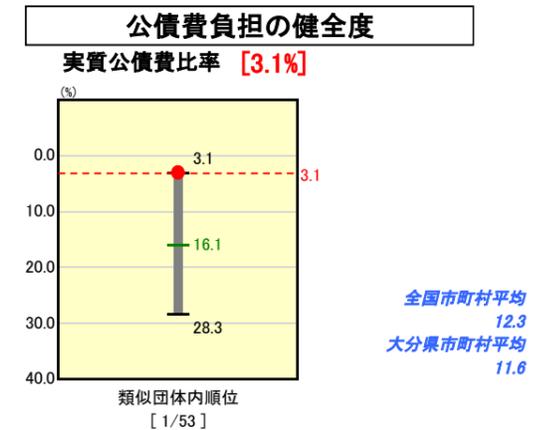
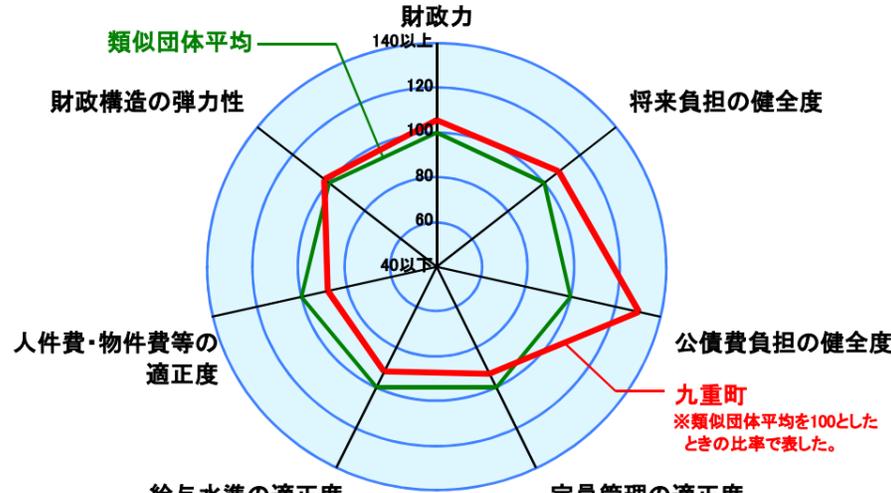
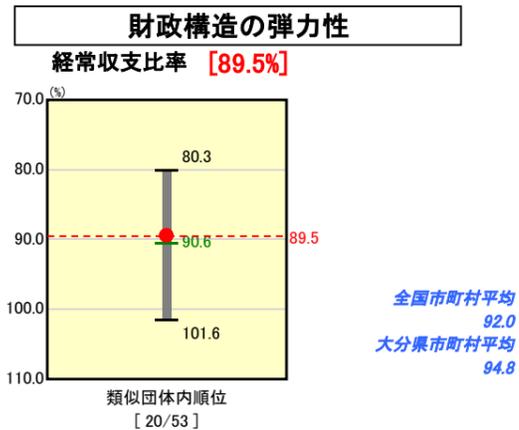
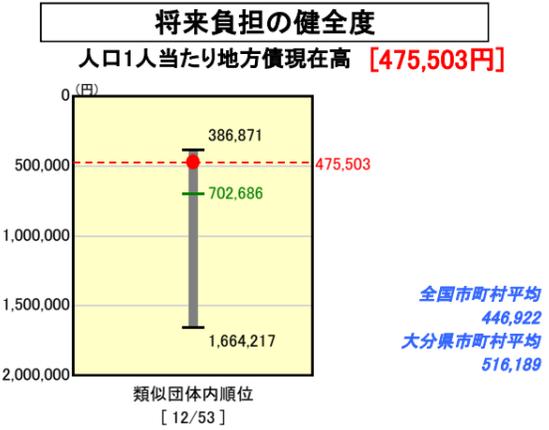
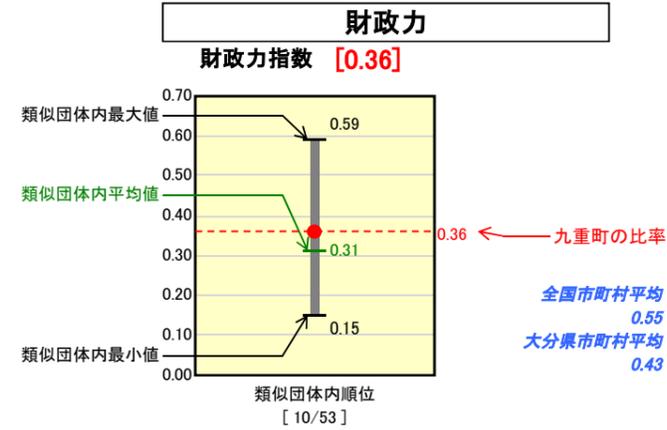


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

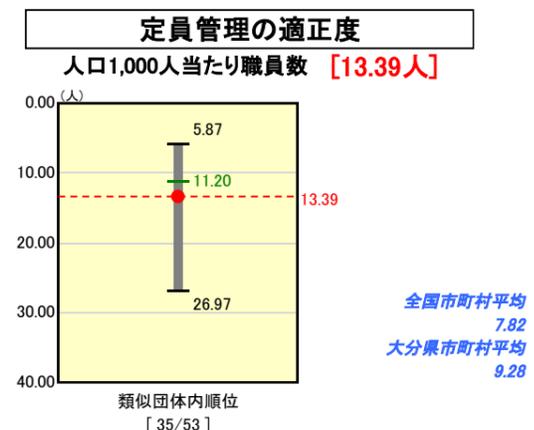
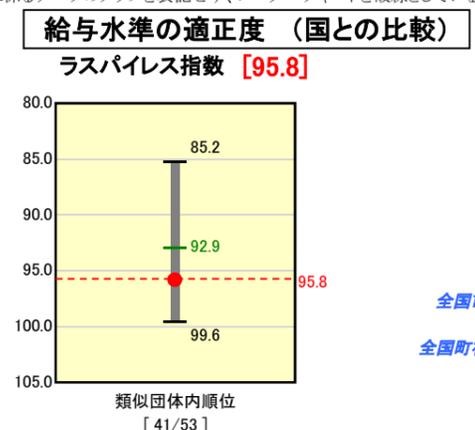
大分県 九重町

人口	11,281 人(H20.3.31現在)
面積	271.41 km ²
歳入総額	7,502,771 千円
歳出総額	7,143,067 千円



給与水準の適正度 (国との比較)

※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 ※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ※ラスパイルズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

《財政力指数》
町税全体に占める固定資産税の占める割合が大きく、類似団体より0.05ポイント多い状態となっています。今後においても大幅な伸びは期待できないため、引き続き徴収強化に努めます。

《経常収支比率》
歳入において地方税や普通交付税等の伸びがありました。歳出において公債費の元金償還が増加したことなどに伴い前年より0.9ポイント悪化しました。しかしながら類似団体との比較では、1.1ポイント良い状態です。今後も集中改革プラン等に基づいた、歳出の縮減に努めます。

《人口一人当たり人件費・物件費等決算額》
前年に比べて11,789円の増となっています。これは、本町が面積が大きいことや、観光施設の管理費用等の増もあり、一概に比較は出来ませんが、今後においては経常経費の縮減が必要であることを認識しています。

《ラスパイルズ指数》
類似団体と比較しても2.9ポイント悪い状態ですが、今後においても定員管理に基づいた職員数を目指します。

《人口1人当たり地方債現在高》
前年度に比較して23,512円の減となっています。これは、大型事業の繰上償還を行ったことが主な要因です。平成20年度において大型事業を実施しており、増加することが想定されますが、今後中長期的視点に立った計画的な繰上償還に努めます。

《実質公債費比率》
類似団体のみならず、全国に比較しても良好な状態にあるといえます。これは過去実施した公債費負担を軽減する適切な繰上償還や、交付税措置される起債が多いことが要因といえます。

《定員管理の適正度》
昨年と比較して0.14人の増、類似団体と比較して2.19人の増となっています。今後は集中改革プランの定員管理に基づいて、削減に努めます。